

オホーツク支部 令和6年 前期活動報告

- 「光る汗・輝く瞳・はずむ心」のある体育授業の創造 -

1 【8月】体力向上推進夏季研修講座

北見市内の幼保、小、中学校教員を対象に、「子供が夢中になる学びに向けて～ゲーム・ボール運動編～」をテーマに研修会を実施した。(参加者41名)今回は、おにあそび・ボールゲーム、ベースボール型について、子供が夢中になる学びに向けた「声掛け」「場の工夫」「補助」など、指導をするための手がかりを紹介、実践交流した。1月にも冬季研修講座(ネット型、ゴール型)を実施予定。



2 【8月】オホーツク夏の教育セミナー

オホーツク教育局が網走地方教育研修センター、管内教育研究団体連絡協議会と共催して実施。オホーツク学体研は体育部会のコマを担当。新しい時代に必要となる資質・能力の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実現について、体育の視点から実践をZoomで紹介した。



3 【6月、10月】研修センター講座「楽しい体育」

毎年、本会員が講師として講座を開講。「楽しい体育」をテーマに、実践を紹介・交流し、保健体育科の指導力向上を図っている。(写真右)

4 【11月29日】オホーツク学校体育研究会公開研究会

北海道教育大学(旭川校)高瀬淳也教授を講師に迎え、斜里町立斜里小学校・網走市立第四中学校を会場校として実施予定。(写真はR5の公開研究会の様子)

